

健康増進に関するオタワ憲章*

Ottawa Charter for Health Promotion International Conference
on Health Promotion
The Move towards a New Public Health
November 17-21, 1986 Ottawa, Ontario, Canada

(健康増進/新しい公衆衛生/オタワ憲章)

山根洋右**、塩飽邦憲**、阿部顕治**、尾崎米厚**、岡本傳男** 訳

Yosuke YAMANE, Kuninori SHIWAKU, Kenji ABE,
Yoneatu OSAKI and Tsutao OKAMOTO

はじめに

1986年11月21日にオタワで開かれたヘルス・プロモーションに関する第1回国際会議は、“2000年までにすべての人を健康に”の行動の一環として、ここにこの憲章を発布する。

この会議は、主として世界的に高まりを見せている新しい公衆衛生への期待に応えるために開かれたものである。討議の焦点は工業諸国のニーズに置かれたが、他のすべての地域に存在する同類の問題についても配慮された。この会議は、アルマアタにおけるプライマリ・ヘルスケア宣言、WHOが掲げた目標、“すべての人を健康に”の文書、そして学際的保健活動に関する世界保健会議の最近の討論によってもたらされた進歩を、さらに押し進めるものである。

ヘルス・プロモーション

ヘルス・プロモーションとは、人々が自らの健康をより良く管理し、改善できるようにするために行われるものである。完全な肉体的、精神的、社会的幸福に達するためには、各個人または各集団が、将来への希望を明確に持ち、それを実現し、ニーズを満たし、環境を変えるか、またはそれに順応できなければならない。従って健康は、生活の目的ではなく、日々の生活の資源だと考えるべきである。健康は肉体的な能力であると同時に、社会的および個人的な資源という意味の強い積極的な概念である。従って、ヘルス・プロモーションは、保健部門だけが引き受けるべきものではなく、健康なライフスタイルから、さらに幸福そのものにかかわってくるのである。

○健康の必要条件

健康の基本条件、源泉となるのは、平和、住まい、教育、食糧、収入、安定した生態系、生命維持に十分な資源、社会正義および公正である。健康の改善のためには、これらの基

*Ottawa Charter for Health Promotion. International Conference on Health Promotion. Canadian Journal of Public Health 77: 425-430, 1986

**第2環境保健医学教室

Department of Environment Medicine

本的な必要条件が、確実に保障されていなければならない。

○健康を擁護する

健康は、社会、経済、そして個人の発展のための主要な資源であり、生活の質を左右する重要事項である。政治、経済、社会、文化、環境、行動、生物に関するさまざまな要素が、すべて健康に益々害をおよぼす。ヘルス・プロモーションは、健康擁護を主張することによって、これらの諸条件を健康にとって好ましいものにするを目的としている。

○健康の可能性を実現する

ヘルス・プロモーションは、健康における公平の達成に最大の力を注ぐ。ヘルス・プロモーションの行動は、現在の健康水準の格差を減らし、すべての人が本来の健康の可能性を完全に実現できるよう、機会と資源を平等に保障することを目的としている。そのためには、基礎的な支えとなる環境が保障されており、健康な生き方を選ぶための情報、生活技術、機会を人々が容易に利用できるの でなければならない。健康を左右するこれらのことを制御することができないうちは、人々は本来の健康の可能性を完全に実現することはできない。このことは、当然、女性と男性に平等にあてはまる。

○さまざまな利害を調整する

健康のための必要条件を確信し、将来への展望を得ることは、保健部門のみの力では不可能である。ヘルス・プロモーションは、関係するすべての人々、すなわち政府、保健部門、社会・経済の諸部門、民間組織、ボランティア組織、地方行政機関、企業、そしてマスメディアによる共同の行動を必要としており、また、それが肝要なことである。あらゆる社会階級の人々が、個人として、家族として、またコミュニティとして参加する。職業集団、社会集団、それに保健専門家は、健康の追求に関して社会に存在するさまざまな利害を調整するための主要な責任を担っている。

ヘルス・プロモーションの方略と計画は、社会的、文化的、経済的システムの違いを考慮にいれて、それぞれの国や地域のニーズと可能性に合わせて作られねばならない。

ヘルス・プロモーションとは何か：

○国民保健政策の確立

ヘルス・プロモーションは、ヘルスケアをさらに越えるものである。ヘルス・プロモーションはすべての部門、すべてのレベルの政策立案者に健康問題を考えさせることであり、彼等の政策決定が健康に及ぼす影響を自覚させ、健康に対する責任を引受けさせることである。

ヘルス・プロモーション政策は、立法、財政対策、税制、機構改革などいくつかの異った、しかし相補的な方法の組合せによって成立する。それらを調和的に運用することにより、公正とそれを拡大するための保健、所得、社会政策がすすめられていくのである。異なる部門の共同行動により、より安全で健康的な商品やサービス、健康により良い公共サービス、クリーンで快適な環境の確保に向かって前進することができる。

ヘルス・プロモーション政策を推進するためには、保健以外の部門に国民保健政策の障害となるものがないかどうか、それを取り除く方法は何かを明らかにする必要がある。それにより、政策立案者が、健康により良い政策ほど、より容易に採用できるようにするた

めである。

○健康を支える環境の創造

我々は社会の複雑な相互関係の上に成り立っている。健康を他の目標から切り離して考えることはできない。人間とその環境の間の解き難い鎖が、健康問題への社会—生態学的な (socioecological) アプローチを必須のものとしている。世界、国、地域、コミュニティすべてにおいて必要な指導原理は、コミュニティと自然環境が互いに支えあう相互維持関係の促進である。世界中の自然資源の保護は、全世界が責任を負うべき重要な課題である。

生活、労働、レジャーのパターンの変化は、健康に多大の影響を与える。労働とレジャーは、人々の健康の源でなければならない。社会による労働の編成は、健康な社会の創造を助けるものでなければならない。ヘルス・プロモーションは、安全で、刺激に富み、満足と楽しみを与える生活・労働条件をつくり出す。

急激に変化する環境、特に技術、労働、エネルギー生産、そして都市化などの分野における変化が健康に与える影響を、体系的に評価することは、ぜひとも必要であり、それをもとに国民の健康を積極的に利するような活動が展開されねばならない。自然環境および人為環境の保護、自然資源の保存は、いかなるヘルス・プロモーション方略の中でも取り込まれねばならない。

○コミュニティ活動の強化

ヘルス・プロモーションは、コミュニティによる具体的で効果的な活動によってすなわちコミュニティが健康の優先性を認め、その達成のための決定を下し、対策を立て、実行することによって押し進められていく。このプロセスの中で最も重要なことは、コミュニティが権限をもつこと、自己の努力目標と必然性を把握し、コントロールしていくことである。

コミュニティの成長によって、やがてはコミュニティ内の既存の人的、物質的資源が、セルフヘルプおよびソーシャル・サポート機能を向上させ、健康問題への住民の参加と主体性を強めるための弾力的なシステムが確立されることとなる。そのためには、資金援助はもちろん、健康に関する情報と学習の機会が常に十分に与えられなければならない。

○個人の生活技術の発展

ヘルス・プロモーションは、情報や健康教育を提供し、生活技術の向上を図ることによって、人々が自分の発展を助ける。それにより、人々が自分の健康と周囲の環境をさらによくコントロールし、健康的な生活方法を選ぶための選択権が増す。

人々が、生涯学びつづけ、人生のあらゆる時期にそなえて準備し、慢性の病気や損傷を乗り越えることができるようにすることはぜひとも必要である。このことは、学校、家庭、職場、コミュニティにおいて促進されなければならない。教育組織、職場組織、商業組織、ボランティア組織による共同行動が、またそれぞれの組織の中で行動が必要とされている。

○ヘルスサービスの方向の刷新

ヘルスサービス部門におけるヘルス・プロモーションは、個人、会社集団、保健専門家、ヘルスサービス施設、政府が責任を分担しておこなう。これらすべてが協力して、健康追求に役立つヘルスケアシステムを確立していかなければならない。

保健部門の役割は、臨床、治療サービスの提供という責任範囲を越えて、今後ますますヘルス・プロモーションの方向に向かわなければならない。ヘルスサービスは、人々の文化的ニーズを敏感に受けとめていくことができるよう、対応能力を拡大する必要がある。すなわち、健康な生活をめざす個人やコミュニティのニーズを支援し、保健部門と、より広範な社会、政治、経済、物理環境の諸部門との間をつなぐ役割を果たさなければならない。

また、ヘルスサービスの方向を刷新するためには、専門家の教育・養成の改革とともに、保健研究にも、さらに力を入れなければならない。それにより、ヘルスサービスの機構と対応能力を、全人格としての個人の総体的なニーズに焦点を合わせたものへと改革していくことが望まれる。

未来に向かって

健康は、人々が日々の生活環境のもとで、学び、働き、遊び、愛しあいながら、創造し、享受するものである。健康は自分自身および他人に気を配ることによって、また自分の生活の諸条件について決断を下し、コントロールすることによって、さらには、住んでいる社会を、すべての構成員に健康の達成を可能にするような条件をもつものによって創造される。

ケア対策、全体論的アプローチ、生態学は、ヘルス・プロモーションの方略を確立するうえで必要不可欠な要素である。したがって、関係者は、ヘルス・プロモーションの計画、実践、評価のそれぞれの段階において、男女が平等のパートナーであるという指導原則を守るべきである。

○ヘルス・プロモーションへの参加

この会議の参加者は次の事を約束する。

1. 国民の保健政策に関する行動を開始し、すべての部門において健康と公正を実現するための明確な政治行動を支持する。
2. 有害物の生産、資源の枯渇、不健康な生活条件と環境、栄養不良の増大に向かう動きに対抗し、環境汚染、労働災害、住民と環境など国民の健康にかかわる重要問題に注意を傾ける。
3. 社会の内部、および異なる社会間に存在する健康格差に対処し、社会の規則や慣習によって生じた健康に関する不公正の問題に取り組む。
4. 主な健康資源は国民であることを認め、国民が自分自身と家族と友人の健康を守るができるよう、財政その他の手段によって支援する。また、健康と生活条件と福祉に関しては、地域社会の意見を第一に尊重する。
5. ヘルス・サービスに向けて修正し、他の部門、他の専門領域、そして最も重要なこととして国民自身と協力する。
6. 健康の創造とその維持を、社会の主要な投資対象、努力目標として認め、我々の生活方法全体の生態学的問題に取り組む。

この会議は、すべての関係者に強固な国民健康協力体制をつくる行動に加わるよう促すものである。

○国際的活動への呼掛け

この会議は、WHOと他の国際機関に対して、あらゆる適切な場においてヘルス・プロ

モーションを奨励するよう、また各国がヘルス・プロモーションのための方略と計画をたてることを支援するよう呼びかける。

この会議は、すべての社会階級の人々、民間組織やボランティア組織、諸国の政府、WHO、その他すべての関係機関が、もしこの憲章となっているモラルと社会理想に沿って、ヘルス・プロモーションの方略を打ち建てるために協力するならば、“2000年までにすべての人を健康に”は現実のものとなることを確信している。

付：本憲章は、WHO、カナダ保健福祉省、カナダ公衆衛生協会が合同で開催した国際会議により作成され、採択された。38カ国から212人の参加者が、1986年11月17日から21日まで、カナダのオタワに集まり、ヘルス・プロモーションに関する経験を交換し、知識をわちあつた。

この会議が刺激となって、一般勤労者、保健従事者その他の専門家、政府機関、ボランティア組織、コミュニティ組織の代表者、また政治家、行政担当者、学者、開業医などの間に、率直な意見交換が行なわれた。会議参加者はそれぞれの努力を寄せ合い、将来へ向けて、努力目標を更に明確にすることができた。“2000年までにすべての人を健康に”という共通の目標をめざして、個人として、また集団として、より積極的に行動に参加して行くことを確認した。

行動を促すための本憲章は、以前に人々のニーズに基づいて実行に移されたいくつかの憲章と同じ精神によるものである。本憲章は、会議参加者が重要な進歩のために不可欠であると考えたヘルス・プロモーションのための基本的なアプローチを示している。この会議の報告書は、提出された問題についての具体例と実践方法を示し、国や関連機関がいかなる行動を要求されているか、その概要を示している。

「新しい公衆衛生」への動きは、今や世界的に明らかになっている。それは、経験的に確かであるだけでなく、各専門を代表して個人的に会議に招待された参加者の証言によっても確認された。

会議は次の国々の代表者が列席した：アンティグア、オーストラリア、オーストリア、ベルギー、ブルガリア、カナダ、チェコスロヴァキア、デンマーク、アイルランド、イングランド、フィンランド、フランス、ドイツ民主共和国、ドイツ連邦共和国、ガーナ、ハンガリー、アイスランド、イスラエル、イタリー、日本、マルタ、オランダ、ニュージーランド、北アイルランド、ノルウェー、ポーランド、ポルトガル、ルーマニア、セントキッツネヴィス、スコットランド、スペイン、スーダン、スイス、ソヴィエト連邦、アメリカ合衆国、ウェールズ、ユーゴスラヴィア。